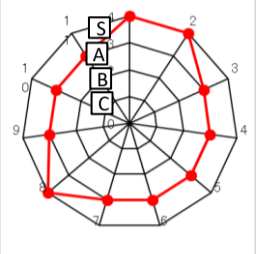
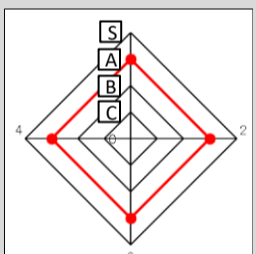
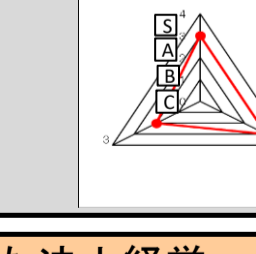
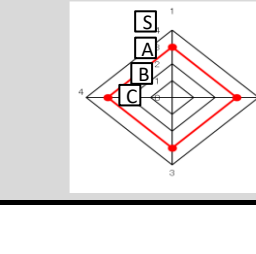


| 全体評価 | 項目別評価 | 大項目 | 中項目 | 取組項目 | 自己評価 | 県評価 |
|--|--|--|---|------|------|-----|
| | | | | | R2 | R2 |
| <p>令和2年度評価</p> <p>全体として、中期目標・中期計画の達成に向けて、順調に進んでいると認められ、大項目4項目のうち、全項目について、中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいると評価した。</p> <p>特に、「I 患者にとって最高の医療の提供」では、新型コロナウイルス感染症対応において、総合、西和とも多くの入院病床を確保し、第1波、第2波、第3波、第4波とも数多くの患者を受け入れ、県内医療機関の中心的な役割を担った。さらにコロナ禍の中でも、救急搬送患者の積極的な受入を行い、北和・西和地域における重症以上の照会回数4回以上の割合が、「R1:1.9%」→「1.1%」とさらなる改善が図られ救急医療体制の充実に大きく貢献した。また、周産期、小児、糖尿病など、政策医療の分野においても、県内の医療体制に支障が出ないよう体制確保に大きな役割を果たしたことは特に評価できる。</p> <p>「III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成」では、新型コロナウイルス感染症対応を行うにあたり、職員の交替制の勤務体制を確保し、特定の職員に過度な負担がかからないよう取り組んだ。一方で、障害者雇用率が、法定雇用率2.6%に達しておらず、「共生社会」実現の理念の下、すべての事業主に法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があることから早急な対応が求められる。</p> <p>また、「IV 自立した経営」について、新型コロナウイルス感染症の影響で、一般病床数が制限されていたにもかかわらず、平均在院日数の減、入院単価の上昇で入院収入をカバーし、外来においても、単価の上昇、前年並みの患者数の確保により経常収支比率は前年度より大幅に改善し、繰越欠損金の縮減に繋がった。さらなる繰越欠損金の縮減に向け、各センターで経費削減、抑制対策や収入増加、確保対策に取り組んでいるが、引き続き、一層の収益確保と費用抑制を進め、経営改善を図る必要が</p> | <p>1) 患者にとって最適な医療の提供</p> <p>IV 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる</p> <p>中項目11項目中、3項目をS、8項目をAとしたことを勧案</p>  | <p>1 患者の視点に立った医療サービスの提供</p> <p>①高度専門医療の提供 ②チーム医療の推進 ③医療の質の標準化・透明化 ④医療の質の評価 ⑤患者及びその家族へのサービスの向上</p> <p>地域の医療拠点としての機能の充実</p> <p>①断らない救急医療の充実 ②質の高いがん医療の充実 ③周産期医療の充実 ④小児医療の充実 ⑤糖尿病医療の充実 ⑥精神医療の充実 ⑦感染症医療の充実</p> | <p>①救急患者受入体制の充実強化 ①がん診療機能の充実 ②緩和ケアの推進 ①ハイリスク妊婦及び新生児の受入体制の強化 ①小児救急患者の積極的受入 ②発達障害児に対する医療提供体制の充実 ①糖尿病専門医による治療の推進 ①精神科救急・身体合併症患者に対する医療の充実 ①感染症医療の充実強化</p> | S | S | |
| | <p>2) 地域の医療力向上への貢献</p> <p>IV 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる</p> <p>中項目4項目中、4項目をAとしたことを勧案</p>  | <p>3 リハビリテーション機能の充実</p> <p>4 医療安全の確保・院内感染の防止</p> <p>5 西和医療センターのあり方の検討</p> | <p>①急性期リハビリテーション提供体制の充実 ②回復期リハビリテーション及び退院後のフォローアップのための外来リハビリテーション提供体制の充実、強化</p> <p>①医療安全対策の徹底 ②院内感染防止対策の徹底</p> <p>①王寺駅周辺地区への移転を含めた再整備方針の検討 ②地域密着型医療の提供</p> | A | A | |
| | <p>3) 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成</p> <p>IV 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる</p> <p>中項目3項目中、2項目をA、1項目をBとしたことを勧案</p>  | <p>1 地域の医療機関との役割分担と連携強化</p> <p>2 地域の医療機能の向上のための支援</p> <p>3 災害医療体制の強化</p> <p>4 県民への医療・健康情報等の提供</p> | <p>①地域の開業医等との連携体制の推進 ②医療機関や福祉施設との連携強化 ③地域包括ケアシステムへの参画</p> <p>①地域医療従事者の資質向上 ②地域医療を支える看護師の養成</p> <p>①災害拠点機能の充実 ②被災時の院内体制の強化</p> <p>①県民への病院・医療情報等</p> | A | A | |
| | <p>4) 自立した法人経営</p> <p>IV 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる</p> <p>中項目4項目中、4項目をAとしたことを勧案</p>  | <p>1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成</p> <p>2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成</p> <p>3 働き方改革の推進</p> | <p>①職員のホスピタリティマインドの実践 ②医療専門職としてのプロフェッショナルリズム教育・研修の強化</p> <p>①職員のスキル・能力向上に向けた教育・研修体制の強化 ②医療プロフェッショナルの養成 ③職員の臨床研究の支援 ④研修医の教育研修体制の充実 ⑤専攻医の教育研修体制の養成 ⑥看護専門学校における質の高い看護師の養成</p> <p>①働きやすい職場づくり ②働きがいのある職場づくりの推進 ③職場における健康確保対策の推進</p> | A | A | |
| | | <p>1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立</p> <p>持続可能な経営基盤の確立</p> <p>①財務内容の改善</p> <p>②収益の確保と費用構造改革の徹底</p> <p>3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成</p> | <p>①内部統制体制の充実・強化</p> <p>①経営基盤強化対策の着実な実施</p> <p>①経営指標の分析に基づく改善の実施 ②業務の効率化・適正化の推進</p> <p>①経営情報等の共有と経営参画意識の向上 ②計画的な人材確保と人員配置</p> | A | A | |

奈良県立病院機構第2期中期目標・中期計画に関する令和2年度評価結果

評価結果

奈良県立病院機構第2期中期目標（R1～R5）で定める実現目標（KPI）133項目の令和2年度の実現状況。

- ・ 年度目標を上回って実施している 32 / 133 項目
- ・ 年度目標どおり進捗した項目 47 / 133 項目
- ・ 年度目標を下回り、今後の改善が必要な項目 46 / 133 項目
- ・ 評価ができなかった項目 8 / 133 項目

| 大項目 | | 年度目標を上回って実施している項目 | 年度目標どおり進捗した項目 | 年度目標を下回り、今後の改善が必要な項目 | 評価ができなかった項目 |
|-----|-------------------------|-------------------|---------------|----------------------|-------------|
| I | 患者にとって最適な医療の提供 | 13 | 14 | 11 | — |
| II | 地域の医療力向上への貢献 | 9 | 16 | 19 | — |
| III | 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成 | 7 | 7 | 8 | 8 |
| IV | 自立した法人経営 | 3 | 10 | 8 | — |
| 合計 | | 32 | 47 | 46 | 8 |

注目される主な項目

I 患者にとって最高の医療の提供

| 分野 | 目標 | R2目標 | R2実績 |
|-----|---|-------------------|----------------------|
| 救急 | ○救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】 | 総合 96% 西和 80% | 総合 92.3% 西和 72.7% |
| | ○北和・西和地域における重症以上の傷病患者搬送事案において、医療機関の受入の照会を行った回数4回以上の割合の改善（低下）【総合・西和】 | 2% | 1.1% |
| 周産期 | ○ハイリスク妊婦の県内搬送率100%達成を目指す【総合】 | 100%を目指す | 総合 99.2% |
| | ○新生児の県内搬送率100%達成を目指す【総合】 | 100%を目指す | 総合 99.2% |
| 小児 | ○小児患者の救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】 | 総合 100% 西和 90% | 総合 94.9% 西和 82.0% |
| 糖尿病 | ○糖尿病専門医による治療患者数の増加【総合・西和】 | 総合 5,000人 | 総合 6,402人 |
| 感染症 | ○感染症患者入院要請応需率100%の維持【総合】 | 100% | 総合 100% |

県評価・コメント

- ・ 救急搬送患者の積極的な受入により、重症以上の照会回数4回以上が、「R1 1.9%」→「1.1%」と大幅な改善が図られ「全国平均 2.4%（R1）」を大きく上回った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応では、総合、西和とも多くの入院病床を確保し、第1波、第2波、第3波、第4波とも数多くの患者を受け入れるなど、県内医療機関の中心的な役割を担った。
- ・ 救急、周産期、小児、糖尿病など、政策医療の分野においても、県内の医療体制に支障が出ないよう体制確保に大きな役割を果たした。

課題と今後の方針

- ・ 引き続き新型コロナウイルス感染症対応と、通常医療の両立に取り組んでいただきたい。

I 患者にとって最高の医療の提供 II 地域の医療力向上への貢献

| 分野 | 目標 | R2目標 | R2実績 | |
|----------|--|-------------------------|----------------------|----------------------|
| 患者サービス向上 | ○患者調査で「満足」と回答した割合（入院・外来別）の向上 | 入院 93% | 入院 92.4% | |
| | | 外来 80% | 外来 83.6% | |
| | ○患者調査で診療待ち時間について「不満」と回答した割合の改善（低下） | 総合 16% | 総合 10.6% | |
| | | 西和 15% | 西和 8.6% | |
| がん | ○院内がん治療件数の増加 ・悪性新生物手術・外来化学療法【総合・西和】 ・放射線治療【総合】 | リハ 1% | リハ 1.3% | |
| | | 悪性新生物手術 | 総合 1,200件 西和 450件 | 総合 1,172件 西和 363件 |
| | | 外来化学療法 | 総合 7,000件 西和 650件 | 総合 8,237件 西和 748件 |
| | 放射線治療 | 総合 12,000件 | 総合 12,938件 | |
| | ○がん医療における高難度（E・D難度）手術の実施件数の増加【総合】 | 総合 950件 | 総合 936件 | |
| 医療安全 | ○患者調査で「安心して医療を受けられた」と回答した割合（入院・外来別）の向上 | 入院 93% | 入院 91.7% | |
| | | 外来 86% | 外来 84.9% | |
| | 連携 | ○平均在院日数（一般病床）の短縮【総合・西和】 | 総合 11.5日 西和 12.5日 | 総合 10.7日 西和 12.2日 |

県評価・コメント

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に行いつつも、高難度の新たな医療提供に取り組み、患者負担軽減、平均在院日数の短縮などに繋がった。
- ・ 西和、リハでも患者サービス向上のため、患者相談室の体制強化、無料バスルートの変更などに取り組んだ。
- ・ 新型コロナウイルスの院内感染は各センターとも発生させず、地域医療提供体制の維持に大きく貢献した。

課題と今後の方針

- ・ 総合、西和の役割を踏まえ、引き続き、患者負担軽減、平均在院日数の短縮、医師の負担軽減に効果のある高難度の新たな医療提供に取り組んでいただきたい。
- ・ 患者サービス向上に引き続き取り組み、患者満足度向上に取り組んでいただきたい。

課題となる項目

Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

3 働き方改革の推進

| 目標 | R2目標 | R2実績 |
|------------------------------------|----------------|--|
| ○職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合の向上 | 全体 60%以上 | 60.8% |
| ○職員調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した割合の向上 | 50% | 52.5% |
| ○男性の育児休業取得率の向上 | 1人以上 | 1人 |
| ○年次有給休暇取得日数の増加 | 総合 7日 | 総合 10.4日 |
| | 西和 7日 | 西和 7.4日 |
| | リハ 10日 | リハ 8.4日 |
| ○復職支援実習の参加人数の増加 | 6人 | 0人 |
| ○看護師在職率の維持 | 離職率 9.4% | 離職率 6.46% |
| ○超過勤務の縮減 | 医師 月27時間 | 30.7時間 総合 35.7 西和 22.8 リハ 1.1 |
| | 看護師 月10時間 | 9.2時間 総合 7.1 西和 14.2 リハ 8.8 |
| | その他医療従事者 月11時間 | 10.7時間 総合 12 西和 6.8 リハ 12.4 |
| | 事務 月18時間 | 22時間 総合 14.9 西和 40 リハ 16.4 |
| ○障害者雇用率の向上 | 2.6%以上 | 2.45% |

県評価・コメント

B

- ・仕事にやりがいを感じている割合やワークライフバランスが図れている割合は、前年度より6ポイント上昇し、改善が進んでいる。
- ・年次有給休暇の取得状況も、コロナ禍の中、概ね各センターとも目標を達成し、年休取得の推進が図られている。
- ・看護師の離職率も「3年前 10.7%」→「6.4%」と大幅に改善が進んでいる。
- ・超過勤務時間で、西和では、新型コロナウイルス感染症対応で看護師、事務の超過勤務が増加しているが、持続的な医療を提供する点からも、超過勤務の縮減に向けた継続した取り組みが必要。
- ・障害者雇用率が、法定雇用率を下回っている。

課題と今後の方針

- ・障害者雇用率が、法定雇用率2.6%に達しておらず、「共生社会」実現の理念の下、すべての事業主に法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があることから早急な対応が求められる。
- ・「仕事にやりがいを感じている」「ワークライフバランスが図れている」の第2期中期目標最終年度の目標値が90%であり、さらなる取り組みを進めていただきたい。

Ⅳ 自立した法人経営

2 持続可能な経営基盤の確立

①財務内容の改善 ②収益の確保と費用構造改革の徹底

| 目標 | R2目標 | R2実績 |
|---|----------|----------|
| ○経常収支比率の改善(上昇) | 95% | 104.1% |
| ○繰越欠損金の縮減 | 162億円 | 131.1億円 |
| ○医業収支比率の改善(上昇) 〔医業収益/医業費用〕 | 総合 91.7% | 総合 88.0% |
| | 西和 99% | 西和 83.0% |
| | リハ 99.9% | リハ 93.0% |
| ○医業収益に対する材料費比率の改善(低下) 〔材料費/医業費用〕 | 総合 30.5% | 総合 34.8% |
| | 西和 25.9% | 西和 26.5% |
| | リハ 10.2% | リハ 9.8% |
| ○医業収益に対する職員給与費比率の改善(低下) 〔職員給与費/医業収益〕 | 総合 54.8% | 総合 55.7% |
| | 西和 54.7% | 西和 70.6% |
| | リハ 74.3% | リハ 82.8% |
| ○医業収益に対する経費比率の改善(低下) | 総合 17.5% | 総合 17.1% |
| | 西和 17.8% | 西和 23.6% |
| | リハ 16.9% | リハ 17.7% |
| ○後発医薬品の使用割合の高水準の維持 | 総合 94.5% | 総合 94.3% |
| | 西和 95% | 西和 95.5% |

県評価・コメント

A

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、一般病床数が制限されていたにもかかわらず、平均在院日数の減、入院単価の上昇でカバーした。外来は、単価の上昇、前年並みの患者数の確保により経常収支比率は前年度より大幅に改善し、繰越欠損金の縮減に繋がった。
- ・総合では、高度医療の増加等により材料費が増加しており、共同購入の取組を進めているが、さらなる削減取組が必要。
- ・西和では、コロナ手当による職員給与費の増加やコロナ病床確保工事、発熱外来設置などの経費増により悪化しているが、医業外収益の補助金で補填されている。
- ・リハでは、委託契約の見直し(複数年化)、後発医薬品の推進による材料費の抑制などで材料費、経費は前年度と比べそれぞれ約5%削減を実現した。引き続き、収入増加、経費削減に取り組む必要がある。

課題と今後の方針

- ・各センターでは、月次ごとに経営指標を分析し、課題について深く議論する場を新たに設置し、具体的な経営改善の方策を検討している。さらなる経営改善に繋がるよう、引き続き取り組みを進めていただきたい。

【県立病院機構 第2期中期目標】

| 分野 | 大項目 | 中項目 | 目標 | 令和2年度目標 (年度計画) | 番号 | 令和2年度 実績値 | 自己評価 | 県評価 | 県からのコメント | | |
|----|------------------|----------------------|------------------------------------|---|--------------------------|--------------|-------------------|-----|---|---|---|
| 診療 | I 患者にとって最適な医療の提供 | 1 患者の視点に立った医療サービスの提供 | ○患者調査で「満足」と回答した割合(入院・外来別)の向上 | 入院 93% | 1 | 入院 92.4% | S | S | <ul style="list-style-type: none"> 総合では、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先にしつつも、ロボット手術など高難度の新たな医療の提供に取り組み(高難度手術件数5,559件(目標:5,100件)、ロボット手術184件(目標:100件))、患者負担軽減、平均在院日数の短縮などに繋げた。 西和では、診察の待ち時間短縮に向け患者相談室担当者の増員や患者サービス向上のため電話診療を開始し患者満足度向上の取り組みを進めている。 総合、西和では、待ち時間短縮の実現により、患者調査の結果が、前年度より、総合では6ポイント、西和では9ポイント改善した。 リハでは、電子カルテ導入による会計待ち時間の短縮や、無料バスのルート変更など患者サービスの向上に取り組んだ。 以上のような患者サービス向上に引き続き取り組み、患者満足度向上に取り組んでいただきたい。 | | |
| | | | 外来 80% | 2 | 外来 83.6% | | | | | | |
| | | | ・患者サービス向上委員会で検討し改善した件数の増加 | 総合 100件 西和 100件 | 3 | 総合 109件 | | | | | |
| | | | | 4 | 西和 72件 | | | | | | |
| | | | ・患者調査で診療待ち時間について「不満」と回答した割合の改善(低下) | 総合 16% | 5 | 総合 10.6% | | | | | |
| | | | | 6 | 西和 8.6% | | | | | | |
| | | | | 7 | リハ 1.3% | | | | | | |
| | | | 2 地域の医療拠点としての機能の充実 | ○救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】 | 総合 96% | 8 | 総合 92.3% | S | | S | |
| | | | | 西和 80% | 9 | 西和 72.7% | | | | | |
| | | | ① 断らない救急医療の充実 | ・北和・西和地域における重症以上の傷病患者搬送事案において、医療機関の受入の照会を行った回数4回以上の割合の改善(低下)【総合・西和】 | 2% | 10 | 1.1% | | | | <ul style="list-style-type: none"> 総合では、コロナ対応を行いつつも、救急医療は制限をかけることなく北和地域の救急医療体制維持大きく貢献し、救急搬送受入率、救急搬送件数とも前年度と同様に高い割合を維持した。 西和では、コロナ第3波からコロナ対応をさらに強化したことから上半期維持していた救急搬送受入率80%を割り込んだが、救急外来の改修など救急患者受入体制強化に取り組んだ。 重症以上の4回以上の照会回数4回以上の割合が「令和元年度1.9%」→「1.1%」とさらに改善。 ※全国平均は「令和元年2.4%」 |
| | | | ② 質の高いがん医療の提供 | ○院内がん治療件数の増加(悪性新生物手術・外来化学療法【総合・西和】放射線治療【総合】) | 総合 1,200件 西和 450件 | 11 | 総合 1,172件 | A | | A | |
| | | | | 悪性新生物手術 | 総合 7,000件 西和 650件 | 12 | 西和 363件 | | | | |
| | | | | 外来化学療法 | 総合 12,000件 | 13 | 総合 8,237件 | | | | |
| | | | | 放射線治療 | 総合 950件 | 14 | 西和 748件 | | | | |
| | | | | ・がん医療における高難度(E・D難度)手術の実施件数の増加【総合】 | 総合 950件 | 15 | 総合 12,938件 | | | | |
| | | | ③ 周産期医療の充実 | ○ハイリスク妊婦の県内搬送率100%達成を目指す【総合】 | 100%を目指す | 17 | 総合 99.2% | A | | A | |
| | | | | ・ハイリスク分娩件数の増加【総合】 | 総合 140件 | 18 | 総合 109件 | | | | |
| | | | | ○新生児の県内搬送率100%達成を目指す【総合】 | 100%を目指す | 19 | 総合 99.2% | | | | |
| | | | ④ 小児医療の充実 | ○小児患者の救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】 | 総合 100% 西和 90% | 20 | 総合 94.9% | A | | A | |
| | | | | ・小児救急受入件数の増加【総合・西和】 | 総合 1,500件 西和 1,400件 | 21 | 西和 82.0% | | | | |
| | | | | | 総合 898件 西和 478件 | 22 | 総合 898件 | | | | |
| | | | | | 西和 478件 | 23 | 西和 478件 | | | | |
| | | | ⑤ 糖尿病医療の充実 | ○糖尿病医療に係る非専門医からの紹介件数の増加【総合・西和】 | 総合 250件 西和 20件 | 24 | 総合 183件 | A | | A | |
| | | | | ・糖尿病専門医の確保【総合・西和】 | 総合 1人 西和 1人 | 25 | 西和 43件 | | | | |
| | | | | ・糖尿病専門医による治療患者数の増加【総合・西和】 | 総合 5,000人 | 26 | 総合 1人 | | | | |
| | | | | | 西和 1人 | 27 | 西和 1人 | | | | |
| | | | ⑥ 精神医療の充実 | ○精神・身体合併症患者受入件数の増加【総合】 | 総合 70件 | 29 | 総合 50件 | A | | A | |
| | | | | ・精神科救急受入件数の増加【総合】 | 総合 15件 | 30 | 総合 17件 | | | | |
| | | | ⑦ 感染症医療の充実 | ○感染症患者入院要請応需率100%の維持【総合】 | 総合 100% | 31 | 総合 100% | S | | S | |
| | | | | ・緊急対応を常時想定した体制の強化【総合】 | 体制の強化 | 32 | 感染症患者対応フローチャートの作成 | | | | |
| | | | 3 リハビリテーション機能の充実 | ○急性期リハビリテーション実施件数の増加【総合・西和】 | 総合 70,000件 西和 61,500件 | 33 | 総合 67,013件 | A | | A | |
| | | | | ○機能的自立度評価法による得点の上昇(入院前後におけるADLの改善)【リハ】 | リハ 27点 | 34 | 西和 57,330件 | | | | |
| | | | | ・在宅復帰率の高水準の維持・向上【総合・西和・リハ】 | 総合 95% | 35 | リハ 31点 | | | | |
| | | | | | 西和 94% | 36 | 総合 93.2% | | | | |
| | | | | | リハ 90% | 37 | 西和 92.0% | | | | |
| | | | | | | 38 | リハ 91.5% | | | | |

【県立病院機構 第2期中期目標】

| 分野 | 大項目 | 中項目 | 目標 | 令和2年度目標 (年度計画) | 番号 | 令和2年度 実績値 | 自己評価 | 県評価 | 県からのコメント | |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------|--|---------------------------------|------------|--------------|---|-----|---|---|
| 診療 | I 患者にとって最適な医療の提供 | 4 医療安全の確保・院内感染の防止 | ○患者調査で「安心して医療を受けられた」と回答した割合(入院・外来別)の向上 | 入院 93% 外来 86% | 39 | 入院 91.7% | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 総合では、コロナの影響で全メンバーが集まっていた活動ができない中、コアメンバーを中心に活動計画を変更しながら体制強化に取り組んだ。 西和では、診療部の報告件数の増加を促すため、目標設定を行い取り組みを進めている。 リハでは、eラーニングによる研修会を2回開催したり、報告対象を増やすなど取り組みを進めている。 | |
| | | | ・医療安全確保のための体制強化と職員の意識向上 | 体制強化 | 40 | 外来 84.9% | | | | |
| | | | ・院内感染防止のための体制強化と職員の意識向上 | 体制強化 | 41 | 体制強化 | | | | |
| | | | | 体制強化 | 42 | 体制強化 | | | | |
| | | | | 体制強化 | 43 | 総合 0.14% | | | | |
| | | ・入院患者のMRSA感染率の低下 | 総合 0.20% 西和 0.10% リハ 0.20% | 44 | 西和 0.14% | | | | | |
| | | 45 | リハ 0.20% | | | | | | | |
| 5 西和医療センターのあり方の検討 | ○県と病院機構が連携して西和医療センターのあり方を検討 | あり方の継続検討 | 46 | 県と連携した「あり方検討委員会」を設営し担うべき医療機能を検討 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 機構本部と西和で検討会を2回実施し、将来のあるべき姿の方向性を運営検討会議に報告した。引き続き、県と連携し検討を進めている。 | | | |
| | ・西和医療センターと総合・リハ・他の医療機関との連携・役割分担の推進 | 連携・役割分担の推進 | 47 | 連携・役割分担の推進 | | | | | | |
| 地域貢献 | II 地域の医療力向上への貢献 | 1 地域の医療機関との役割分担と連携強化 | ○患者の紹介率(入院・外来別)の向上 | 入院 総合 50% 西和 100% | 48 | 総合 49.5% | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 総合では、4、5月の患者数の減少があったものの、ほぼ目標どおりの紹介逆紹介率、患者数に達した。退院支援加算1も取得し、地域の医療機関との連携を強めている。 救急ネットワークのweb運用の拡大やコロナ患者の地域連携による退院促進にも取り組み、モデル的な取り組みとして全県に展開することとなった。 西和では、コロナ病床確保による、一般病床の運用が制限される中、地域の関係機関とリモート会議や連携バス導入の検討など西和地域の医療機関の中心となる取組を進め、入院の紹介率は減少しているが、その他の指標は、ほぼ目標値どおりの実績となった。 総合、西和とも、コロナ病床確保による一般病床確保のため、平均在院日数短縮に取り組み、県内の医療提供体制の維持に取り組んだ。 リハでは、医療型短期入所の開始による医療と福祉の連携の推進や回復期リハビリテーション病棟の運用による医療機能の充実を図った。 | |
| | | | 外来 総合 78% 西和 75% | 49 | 西和 53.1% | | | | | |
| | | | ・紹介患者数(入院・外来別)の増加 | 入院 総合 650人 西和 750人 | 50 | 総合 80.9% | | | | |
| | | | 外来 総合 13,000人 西和 6,600人 | 51 | 西和 74.9% | | | | | |
| | | | ○患者の逆紹介率(入院・外来別)の向上 | 入院 総合 275% 西和 300% | 52 | 総合 525人 | | | | |
| | | | 外来 総合 85% 西和 90% | 53 | 西和 367人 | | | | | |
| | | | ・逆紹介患者数(入院・外来別)の増加 | 入院 総合 3,400人 西和 2,300人 | 54 | 総合 14,027人 | | | | |
| | | | 外来 総合 14,000人 西和 7,500人 | 55 | 西和 5,762人 | | | | | |
| | | | ・平均在院日数(一般病床)の短縮【総合・西和】 | 総合 11.5日 西和 12.5日 | 56 | 総合 288.0% | | | | |
| | | | | 総合 85% 西和 90% | 57 | 西和 298.0% | | | | |
| | | | ・地域医療連携のための会議の参加回数の増加 | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 58 | 総合 95.6% | | | | |
| | | | | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 59 | 西和 87.6% | | | | |
| | | | | 総合 3,400人 西和 2,300人 | 60 | 総合 3,053人 | | | | |
| | | | | 総合 14,000人 西和 7,500人 | 61 | 西和 2,059人 | | | | |
| | | | 総合 11.5日 西和 12.5日 | 62 | 総合 12,329人 | | | | | |
| | | | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 63 | 西和 5,124人 | | | | | |
| | | | 総合 11.5日 西和 12.5日 | 64 | 総合 10.7日 | | | | | |
| | | | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 65 | 西和 12.2日 | | | | | |
| | | | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 66 | 総合 8回 | | | | | |
| | | | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 67 | 西和 13回 | | | | | |
| | | | 総合 20回 西和 12回 リハ 13回 | 68 | リハ 8回 | | | | | |
| | | 2 地域の医療機能の向上のための支援 | ○教育研修センターにおける地域の医療従事者の資質向上のための取組の充実【研修セ】 | 取組の充実 | 69 | 実施できず | A | A | | <ul style="list-style-type: none"> 各センターとも当初予定していた研修は、コロナの影響で中止していたが、順次webを利用した形式で開催し、地域の医療従事者の資質向上を図った。 西和では、コロナ発熱外来認定医療機関やコロナ患者受入病床を確保する病院へ研修を行った。 看護専門学校では、面談の強化など就職支援策を強化し、卒業生の県内就業率の目標を大きく上回った。 |
| | | | ○地域の医療従事者に対する研修の受講者数の増加【総合・西和・リハ】 | 総合 300人 西和 400人 リハ 120人 | 70 | 総合 81名 | | | | |
| ○看護専門学校卒業生の県内就業率100%達成を目指す【看専】 | 90.0% | | 71 | 西和 174人 | | | | | | |
| ・医療従事者の短期・長期研修の受入数の増加 | 西和 6人 | | 72 | リハ 59人 | | | | | | |
| ・地域の医療従事者に対する研修の実施回数の増加 | 総合 20回 西和 12回 リハ 8回 | | 73 | 97.4% | | | | | | |
| | 西和 6人 | | 74 | 西和 4人 | | | | | | |
| | 総合 20回 西和 12回 リハ 8回 | | 75 | 総合 13回 | | | | | | |
| | 西和 12回 リハ 8回 | 76 | 西和 12回 | | | | | | | |
| | リハ 8回 | 77 | リハ 8回 | | | | | | | |
| 3 災害医療体制の強化 | ○関係機関や地域と連携した災害医療訓練の実施 | 総合 3回 西和 3回 リハ 2回 | 78 | 総合 2回 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、関係機関との訓練実施に制限がある中、各センターとも自院被災を想定した院内防災訓練に取り組み、被災時の院内体制の強化を図った。 コロナの影響で、DMAT養成研修が中止となり、新たなDMAT隊員の養成はできなかったが、DMAT隊によるコロナドライブスルー外来の運営など、県内のコロナ対応に大きな役割を果たした。 | | | |
| | ・DMATチーム数の増加【総合・西和】 | 総合 3チーム 西和 3チーム | 79 | 西和 0回 | | | | | | |
| | | リハ 2回 | 80 | リハ 1回 | | | | | | |
| | | 総合 3チーム 西和 3チーム | 81 | 総合 3チーム | | | | | | |
| | | 西和 3チーム | 82 | 西和 1チーム | | | | | | |

【県立病院機構 第2期中期目標】

| 分野 | 大項目 | 中項目 | 目標 | 令和2年度目標 (年度計画) | 番号 | 令和2年度 実績値 | 自己評価 | 県評価 | 県からのコメント |
|----------------|---------------------------|-----------------------------|---|------------------------------------|----------|-----------------|------|-----|--|
| 地域貢献 | Ⅱ 地域の医療力向上への貢献 | 4 県民への医療・健康情報等の提供 | ○公開講座受講者調査で「有意義だった」と回答した割合の向上【総合・西和・リハ】 | 総合 90% | 83 | (今年度開催中止) | A | A | ・コロナの影響により、県民向け公開講座は中止となったが、ホームページや広報誌等を通じて県民に対し病院・医療情報等の発信を積極的に行っている。 |
| | | | | 西和 90% | 84 | (今年度開催中止) | | | |
| | | | | リハ 90% | 85 | (今年度開催中止) | | | |
| | | | | 総合 450人 | 86 | (今年度開催中止) | | | |
| | | | | 西和 300人 | 87 | (今年度開催中止) | | | |
| リハ 150人 | 88 | (今年度開催中止) | | | | | | | |
| | | ・県民向け公開講座の受講者数の増加【総合・西和・リハ】 | | 積極的な広報 | 89 | 積極的な広報の実施 | | | |
| 人材確保・育成 | Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成 | 1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成 | ○患者調査で「患者の気持ちを理解しよう」と回答した割合(入院・外来別)100%達成を目指す | 入院 95% | 90 | 入院 91.5% | A | A | ・コロナの影響により、多くの研修が中止となったが、webによる実施など工夫して取り組んだ。 |
| | | | | 外来 85% | 91 | 外来 80.9% | | | |
| | | | | ・ホスピタリティ研修の参加人数の増加 | 92 | (今年度開催中止) | | | |
| | | 2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成 | ○ホスピタリティ研修後受講者アンケートで「自身のホスピタリティ向上に役立った」と回答した割合の向上 | 75% | 93 | (今年度開催中止) | A | A | ・専門医数増加に向け、総合では、呼吸器、腎臓、透析などの分野で増加した。西和では、看護師特定行為研修、認定看護師の増加に取り組んだ。リハでも専門医数の増加に取り組み、職員のスキル、能力向上に取り組んだ。 ・初期臨床研修医マッチ率100%、専攻医の増加、看護師国家試験合格率もほぼ目標を達成しており、人材確保、育成が図られた。 |
| | | | | ○専門医数の増加 | 94 | 専門医 352人 | | | |
| | | | | ○専門(又は認定)看護師数の増加 | 95 | 専門(又は認定)看護師 32人 | | | |
| | | | | ・初期臨床研修医マッチ率の向上 | 96 | 100% | | | |
| | | | | ・専攻医数の維持 | 97 | 62人 | | | |
| | | | | ○看護専門学校現役卒業生の看護師国家試験合格率100%の維持 | 98 | 97.4% | | | |
| | | 3 働き方改革の推進 | ○職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合の向上 | 50% | 100 | 60.8% | A | B | ・総合では、医師の超過勤務時間が昨年度より増加しているが、看護師と事務は減少し年休もほぼ取得できており交代制の勤務体制が確保されている。医師の超過勤務縮減のさらなる取り組みが必要。 ・西和では、新型コロナウイルスの影響で業務量が増加している。引き続き、看護師、事務の超過勤務時間縮減に向けた取り組みが必要。 ・リハでは、電子カルテ導入による業務の効率化に取り組んでおり、さらに取り組みを進める必要がある。 ・看護師の離職率が、昨年度よりさらに減少しており、2017年の10.7%より大幅な改善が進み、働き方改革の効果が現れてきていると考えられ、さらなる取組が求められる。 ・障害者雇用率が、法定雇用率2.6%に達しておらず、「共生社会」実現の理念の下、すべての事業主に法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があることから早急な対応が求められる。 |
| | | | | ・職員調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した割合の向上 | 101 | 52.5% | | | |
| | | | | ・男性の育児休業取得率の向上 | 102 | 1人 | | | |
| | | | | ・年次有給休暇取得日数の増加 | 103 | 総合 10.4日 | | | |
| | | | | | 104 | 西和 7.4日 | | | |
| | | | | | 105 | リハ 8.4日 | | | |
| | | | | ・復職支援実習の参加人数の増加 | 106 | 0人 | | | |
| | | | | ・看護師在職率の維持 | 107 | 離職率 6.46% | | | |
| | | | | ・超過勤務の縮減 | 医師 月27時間 | 108 | | | |
| 看護師 月10時間 | 109 | 9.2時間 | 総合 7.1 西和 14.2 リハ 8.8 | | | | | | |
| その他医療従事者 月11時間 | 110 | 10.7時間 | 総合 12 西和 6.8 リハ 12.4 | | | | | | |
| 事務 月18時間 | 111 | 22時間 | 総合 14.9 西和 40 リハ 16.4 | | | | | | |
| ○障害者雇用率の向上 | 2.6%以上 | 112 | 2.45% | | | | | | |

【県立病院機構 第2期中期目標】

| 分野 | 大項目 | 中項目 | 目標 | 令和2年度目標 (年度計画) | 番号 | 令和2年度 実績値 | 自己評価 | 県評価 | 県からのコメント | | |
|------|------------|-------------------------|---------------------------|---|----------------------------------|-------------------|----------------------------------|-----|---|--|-----|
| 法人経営 | Ⅳ 自立した法人経営 | 1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立 | ○第2期中期目標に掲げる目標の達成 | 目標達成に向けた各種取組の実施 | 113 | 目標達成に向けた各種取組の実施 | A | A | ・ガバナンス体制が図られていることにより、県からの急な要請が多かったコロナ病床確保、ドライブスルー外来や発熱外来クリニックの設置に迅速に対応され、県内のコロナ体制の構築に大きく貢献した。 ・中期目標、中期計画の理解については、約4割の職員の理解が進んでおらず、ニュースレターの発行や各センター幹部による周知など、重要事項が職員全員に周知徹底される取り組みを引き続き行う必要がある。 ・経営改善をテーマにした月次評価会議を新たに設置し、経営課題の解決に向け取組を強化した。 | | |
| | | | ・職員の中期目標・中期計画の理解度100%を目指す | 70% | 114 | 61.3% | | | | | |
| | | 2 持続可能な経営基盤の確立 | ① 財務内容の改善 | ○経常収支比率の改善(上昇) | 95% | 115 | 104.1% | A | A | ・新型コロナウイルス感染症の影響で、一般病床数が制限されていたにもかかわらず、平均在院日数の減、入院単価の上昇でカバーした。外来は、単価の上昇、前年並みの患者数の確保により経常収支比率は前年度より大幅に改善し、繰越欠損金の縮減に繋がった。一層の収益確保と費用抑制を図り経営改善に取り組む必要がある。 ※コロナ関連の補助金は、医業収益に含まれていない。 | |
| | | | | ・繰越欠損金の縮減 | 162億円 | 116 | 131.1億円 | | | | |
| | | | | ・医業収支比率の改善(上昇)〔医業収益/医業費用〕 | 総合 91.7% 西和 99% リハ 99.9% | 117 118 119 | 総合 88.0% 西和 83.0% リハ 93.0% | | | | |
| | | | ② 収益の確保と費用構造改革の徹底 | ○医業収益に対する材料費比率の改善(低下) | 総合 30.5% 西和 25.9% リハ 10.2% | 120 121 122 | 総合 34.8% 西和 26.5% リハ 9.8% | | | | |
| | | | | ・医業収益に対する職員給与費比率の改善(低下)〔職員給与費/医業収益〕 | 総合 54.8% 西和 54.7% リハ 74.3% | 123 124 125 | 総合 55.7% 西和 70.6% リハ 82.8% | | | | |
| | | | | ・医業収益に対する経費比率の改善(低下) | 総合 17.5% 西和 17.8% リハ 16.9% | 126 127 128 | 総合 17.1% 西和 23.6% リハ 17.7% | | | | |
| | | | | ・後発医薬品の使用割合の高水準の維持 | 総合 94.5% 西和 95% | 129 130 | 総合 94.3% 西和 95.5% | | | | |
| | | | | ・地域の医療機関との連携を図りつつ、経営状況に応じて計画的に稼働病床を増加【総合】 | 480床 | 131 | 総合 462床 | | | | |
| | | | | 3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成 | ○事務部門におけるプロパー職員の割合の向上 | 60% | 132 | | | | 65% |
| | | | | | ・経営改善・業務改善に向けた職員提案件数の増加 | 6件以上 | 133 | | | | 3件 |